

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年3月31日

1 事業名	安全会議事業	コード	93106
-------	--------	-----	-------

2 担当部課	部等 市民環境部	課等 市民環境課	作成者 吉沢 透
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	安全・安心な暮らしの確保	施 策	生活安全対策の推進
		予算科目	安全会議費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	交通安全部会、産業安全部会、消防部会、防犯部会、環境保健部会、学校安全部会で構成し、各種の安全運動、啓発活動を展開するとともに、事業に対する支援を行う。			
目的	対象者	市内の住民及び滞在者等		
	意 図	市民の安全意識の高揚を図るとともに、各種の災害発生を防止し、市民の安全と安心な暮らしを確保する。		

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
安全意識の高揚を図るため、交通安全、産業安全、消防、防犯、環境保健、学校安全の部会ごと活動するとともに、関係機関や団体が連携し啓発事業等を実施した。				
・会議関係				
幹事会 : 6月19日（月） 市役所会議室				
理事会及び総会 : 6月26日（月） 市役所9階大会議室ほか				
・岡谷市安全市民大会 : 8月 6日（日） カノラホール				
前年度の課題への対応	安全市民大会を開催し安全意識の高揚を図っている。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	会議・大会等の回数			単位	回
実績値	4	4	4		
*指標の説明	年間開催数の合計				
② 成果指標（指標名）				単位	人
目標値	500	500	500	500	
実績値	490	440	413		
達成度	98.0%	88.0%	82.6%		
*指標の説明	総会等会議・大会等の出席者数の合計				
*目標値の設定方法の説明	過去3年間の平均値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	2,650,793	427,919	437,143	475,000
経常経費	2,650,793	427,919	437,143	475,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	1,360,000	1,360,000	1,120,000	1,120,000
正規職員の人数(人)	0.17	0.17	0.14	0.14
③ 合計コスト(①+②)	4,010,793	1,787,919	1,557,143	1,595,000
前年度比		44.6%	87.1%	102.4%
財源	4,010,793	1,787,919	1,557,143	1,595,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	1,002,698	446,980	389,286	
前年度比		44.6%	87.1%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
安全会議補助金	件数	7	0	0
	金額	2,220,880	0	0
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	2,220,880	0	0
	割合	83.78%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 93.9%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 82.6%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 市全体の安全運動を総合的に推進していく会議であるが、会としての動きが見えない部分がある。	
	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 幹事会及び理事会において、会の在り方や内容について再確認を行う。	
改善方法	改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---